

引き継がれる西洋史研究

—佐藤伊久男文書②—

佐藤伊久男（さとう いくお 1930～2010）は中世英国史の研究者です。1969年以降に東北大学文学部の教員に就き（当時は西洋史/現ヨーロッパ史、1975～94年は教授）、1994年の退職と共に名誉教授となりました。



本文書については、すでに第23回の新公開資料速報展で、文学部教授会関係資料などを紹介しました。その時点では研究資料の所蔵を欠

いていたのですが、そののち御遺族から追加寄贈を受け、受講／講義／研究に関わるノート類が60点ほど加わりました。今回、改めて追加分の紹介をいたします。

受講ノート7点は、学生時代に受けた講義などのノートです。東洋史（曾我部静雄）や考古学（伊東信雄）、西洋法制史（世良晃四郎）など、著名な教授たちの講義内容が記されています。

講義ノート36点は、1966年から2004年ころまでの自身の講義用で、概説的なものから個別研究まで、さまざまな内容が扱われています。東北大学だけでなく、岩手大学や熊本大学などで、集中講義の際に用いられたものも確認できます。

研究ノート17点では、個別のテーマに沿った調査研究の痕跡を確認することが出来ます。

前代の研究蓄積を受け容れ、それと格闘し、成果を次代に伝えていく——資料からは、そうした研究の営みが見えてきます。